

令和7年度公営企業会計決算の概要

- 電気事業は発電量減少に伴う料金収入減により3年ぶりの赤字
- 水道事業は5年連続の黒字
- 工業用水道事業は2年連続の黒字
- 流域下水道事業は諸物価高騰により2年ぶりの赤字

1 電気事業

(1) 収益的収支

- 供給電力量は、対前年度比32.3%減の2,649万8千kWhとなりました。
- 収入は、発電量減少のため対前年度比33.9%減の3億47百万円、うち料金収入は対前年度比34.4%減の3億41百万円となりました。
- 支出は、固定資産除却費の増等により、対前年度比1.7%増の3億92百万円となりました。
- この結果、収支差引は45百万円の純損失となりました。

(単位：千kWh、百万円)

区 分	令和7年度 (決算)	令和6年度 (決算)	前年度比較 (R7-R6)	増減率
供給電力量	26,498	39,114	△ 12,616	△ 32.3%
収入 A	347	525	△ 178	△ 33.9%
うち料金収入	341	520	△ 179	△ 34.4%
支出 B	392	385	7	1.7%
差引 A-B	△ 45	140	△ 185	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は3億64百万円、支出は4億25百万円となり、収支差引不足額は61百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和7年度 (決算)	令和6年度 (決算)	前年度比較 (R7-R6)	増減率
収入 C	364	0	364	皆増
支出 D	425	24	401	著増
うち建設改良費	401	0	401	皆増
差引 C-D	△ 61	△ 24	△ 37	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

2 水道事業

(1) 収益的収支

- 給水量は、対前年度比 2.8%増の 4,181 万 3 千立方メートルとなりました。
- 収入は、料金改定による給水料金の減等により、対前年度比 1.1%減の 52 億 32 百万円、うち料金収入は、対前年度比 1.7%減の 48 億 70 百万円となりました。
- 支出は、委託料や減価償却費の増等により対前年度比 1.8%増の 47 億 3 百万円となりました。
- この結果、収支差引は 5 億 29 百万円の純利益となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較	
			(R7-R6)	増減率
給水量	41,813	40,693	1,120	2.8%
収入 A	5,232	5,289	△ 57	△ 1.1%
うち料金収入	4,870	4,955	△ 85	△ 1.7%
支出 B	4,703	4,622	81	1.8%
差引 A-B	529	667	△ 138	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 8 億 49 百万円、支出は 31 億 6 百万円となり、収支差引不足額は 22 億 57 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較	
			(R7-R6)	増減率
収入 C	849	854	△ 5	△ 0.6%
支出 D	3,106	3,228	△ 122	△ 3.8%
うち建設改良費	1,218	1,334	△ 116	△ 8.7%
差引 C-D	△ 2,257	△ 2,374	117	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

3 工業用水道事業

(1) 収益的収支

- 有収水量は、対前年度比 1.2%増の 1,081 万 1 千立方メートルとなりました。
- 収入は、有収水量の増等により、対前年度比 1.5%増の 3 億 37 百万円、うち料金収入は、対前年度比 1.5%増の 2 億 93 百万円となりました。
- 支出は、修繕費や動力費の減等により、対前年度比 9.6%減の 2 億 91 百万円となりました。
- この結果、収支差引は 46 百万円の純利益となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較	
			(R7-R6)	増減率
有収水量	10,811	10,684	127	1.2%
収入 A	337	332	5	1.5%
うち料金収入	293	289	4	1.5%
支出 B	291	322	△ 31	△ 9.6%
差引 A-B	46	10	36	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 1 億 12 百万円、支出は 2 億 18 百万円となり、収支差引不足額は 1 億 6 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較	
			(R7-R6)	増減率
収入 C	112	73	39	53.3%
支出 D	218	160	58	36.1%
うち建設改良費	168	118	50	42.8%
差引 C-D	△ 106	△ 87	△ 19	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

4 流域下水道事業

(1) 収益的収支

- 処理水量は、対前年度比 1.2%減の 1 億 957 万 5 千立方メートルとなりました。
- 収入は、長期前受金戻入の減等により対前年度比 1.9%減の 134 億 7 百万円となりました。
- 支出は、減価償却費の減、委託料の増等により対前年度比 1.0%減の 134 億 85 百万円となりました。
- この結果、収支差引は 78 百万円の純損失となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較 (R7-R6)	
				増減率
処理水量	109,575	110,924	$\triangle 1,349$	$\triangle 1.2\%$
収入 A	13,407	13,667	$\triangle 260$	$\triangle 1.9\%$
支出 B	13,485	13,620	$\triangle 135$	$\triangle 1.0\%$
差引 A-B	$\triangle 78$	47	$\triangle 125$	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 64 億 76 百万円、支出は 82 億 66 百万円となり、収支差引不足額は 17 億 90 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度 (決算)	令和 6 年度 (決算)	前年度比較 (R7-R6)	
				増減率
収入 C	6,476	7,579	$\triangle 1,103$	$\triangle 14.5\%$
支出 D	8,266	8,181	85	1.0%
うち建設改良費	5,955	4,881	1,074	22.0%
差引 C-D	$\triangle 1,790$	$\triangle 602$	$\triangle 1,188$	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部公営企業経営課 課長 荒木 直哉 TEL 075-414-5465
課長補佐兼係長 石井 俊英 TEL 075-414-5211

